



ドクダミに囲まれた灯籠



ドクダミの花が咲いた時は白く綺麗な丘になります。  
(N.O)

インターネット時代 36  
人を傷つける言葉  
十河 靖典

みなさん、スマホを何に使っていますか？ どの世代でも一番多いのは動画の視聴です。ひとつ見たら次々におススメのものが出てきてアツという間に時間が経ちますね。他には、小学生はあまり使つていませんのに、中学生になるとたくさん使います。高校生ではほぼ100%使つています。SNSであります。動画

をやりとりします。ここで相手を傷つけるような言葉を使うトラブルに発展しますが、子どもはその言葉をどこで覚えたのでしょうか？友達やテレビ、YouTubeや保護者から見たり聞いたりして覚えるのです。特に自分が人に言われてつらうものです。叱ると怒るは違います。子どもの行動に対して腹が立つた時、怒る感情が出てくるのは当たり前ですが、それをそのままぶつけるのではなく、言葉を選んで叱りましょう。子どもに使ってほしくない言葉は、大人も使わないようにしたいですね。

【あれこれくりくま 古里のこと】②

「麦稈真田(ばっかんさんだ)」

今年も5月中旬から麦の収穫が始まりました。黄金に実った麦は、順調に収穫を終えうどんや麦茶などに利用されます。

しかし私が子どもだった昭和30年代半ばには、あちこちで収穫後の麦わらをひも状に組む様子が見られました。麦稈真田と言い麦わら帽子の材料となります、香川の特産品として農家の貴重な収入源でした。

お年寄り達が近所の納屋に集まり、風通しのよい場所に座って作業しますが、麦わらを水で湿らせ柔らかくした後、「ミトリ」という木製のローラーで平らにし、組んでゆきます。いくつかの組み方があり、特に7本で組んでゆく七猫(しちねこ)は難しく、高値で取引されました。

戦前は麦稈真田を組む競技会が開催されるほど盛んでしたが、昭和40年代には姿を消しました。今はほとんど焼かれてしまう麦わらですが、そんな歴史があったのです。



ミトリ



6月18日、栗熊小学校5年生15名が、環境安全部とJAの協力のもと「バケツ稲づくり」に取り組みました。JA職員の説明の後、環境安全部の部員が植え方を指導。児童たちはバケツに土と水を入れ、代掻きを行い、苗を丁寧に植えました。中には泥で服が汚れるほど熱心に作業する姿も見られました。今後、生徒たちはタブレットで生長を記録していく予定です。今回の体験を通して、子どもたちが自然の恵みや農業の大切さに心を持ち、身近な暮らしとのつながりを感じつづけています。



育てて観察「バケツ稲」

環境安全部 共催..JA

クリックマン見守り隊発足10周年大パレード

見守り部



6月11日、長く続いた雨もやみ蒸し暑い中、クリックマン見守り隊発足10周年大パレードが、栗熊小学校の集団下校に合わせて約40名の隊員参加のもと開催されました。児童会6名によるクラッカー発射を合図に、クリックマンに見送られながらパトカーを先頭に、隊員はコミュニティセンターまで行進しました。閉会式では、津郷部長から、令和6年度まで代表を務めた大谷氏に花束が贈られました。



栗熊にはうどん店が3店舗あり、コミュニティセンターを出発して、それぞれを巡るコースは5.5kmほど。もしこれが5店舗だったら食べれないし、10kmだったらきついですが、全てがちょうどいいのです。参加者は4ヶ月（！）から77歳の41人で、2/3以上の人人が3玉以上食べました。心配された天気も晴れになり、心地よい風の中を楽しくおしゃべりしながらウォーキングして、美味しいうどんをお腹いっぱい食べました。また6月2日には四国新聞にもこの模様が掲載され、栗熊の魅力発信にも一役買えました。

栗熊うどんウォーキング  
スポーツ育成部

5月31日、スポーツ育成部と丸亀市スポーツ協会の共催で「栗熊うどんウォーキング2」が開催されました。丸亀市「チャレンジウォーク（みんなで楽しく体を動かそう！）」の一環として企画したこのイベントは今年で2回目になります。

中学校

修学旅行

4月22日～25日に3泊4日で九州へ修学旅行に行きました。平和の大切さや自然の偉大さなど多くのことを学ぶことができました。なかまとの友情を深めたり、学年団の団結力を高めたりすることにつながった実りの多い修学旅行でした。

【熊本城見学】



【グリーンランドでのアトラクション】



運動会

5月31日に綾歌中学校で運動会を行いました。今年も大縄跳び、2年生・3年生のダンス、全校ダンス「千本桜」などを行いました。なかまとの絆を深めたり、元気に競技やダンスに取り組んだり、活気あふれる楽しい一日となりました。多くの保護者や地域の方に参観いただきありがとうございました。

【全校ダンス】



【大縄跳び】



保育所

むかしばなしを聞こう  
～地域の方と一緒に～

5月29日に保健福祉部の方と一緒に、『住吉神社と白鷺伝説』という代々伝わる昔話を聞きました。

保育所に帰ってくると「白い鳥がとんだけん、助けてくれたんで」と真剣に話す子どもたち。

紙芝居の絵と境内から見える風景を照らし合わせながら聞いた話が子どもたちにとってすごく印象的だったようでした。

これからも、ふるさとに親しんでいけるような交流を計画していきたいと思います。

